

甲斐市 議会だより

No. 61
令和元年10月25日発行



わがまちめ



甲斐市マスコットキャラクター

竜王東小学校運動会（1年生の玉入れ）
令和元年9月28日

今号の見どころ

第3回定例会	2ページ
ここが聞きたい 一般質問	9ページ
公開します議員の賛否	16ページ
第2回臨時会	17ページ
市民の声・議会傍聴記	20ページ



KAI City



平成30年度
決算

一般会計歳出 265億 9,721万円を認定

引き続き、効率的な 財政運営を求める

決算
認定

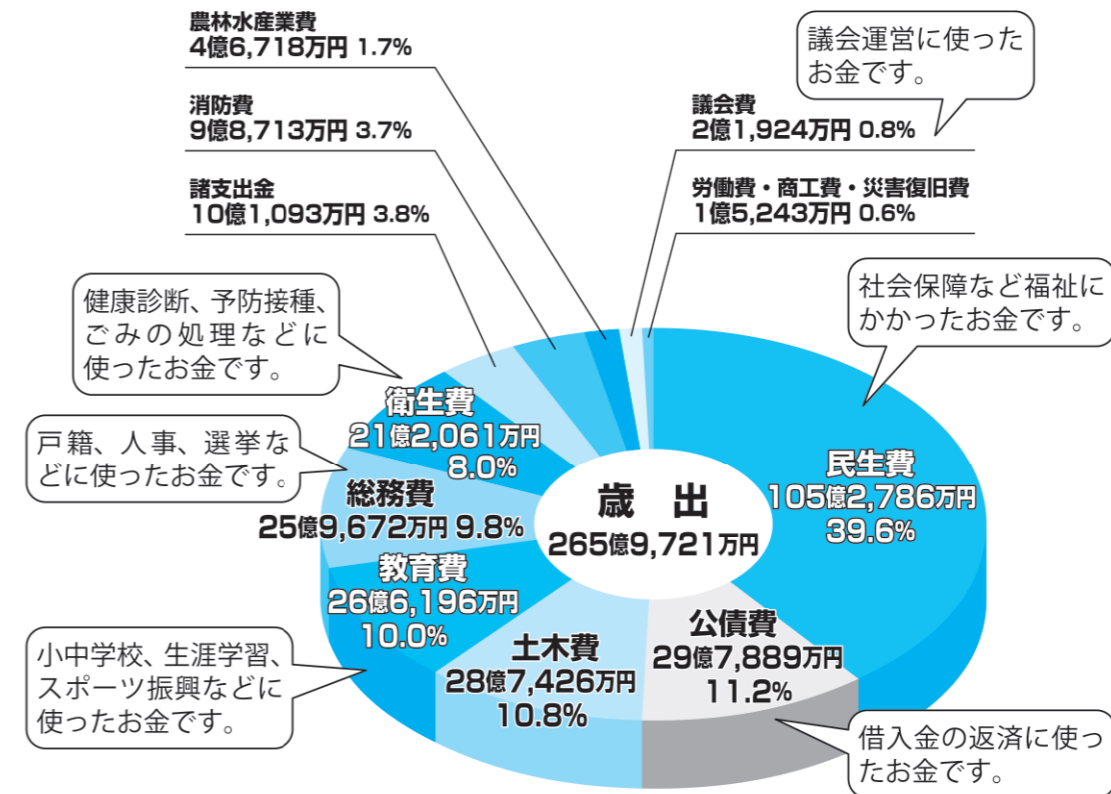
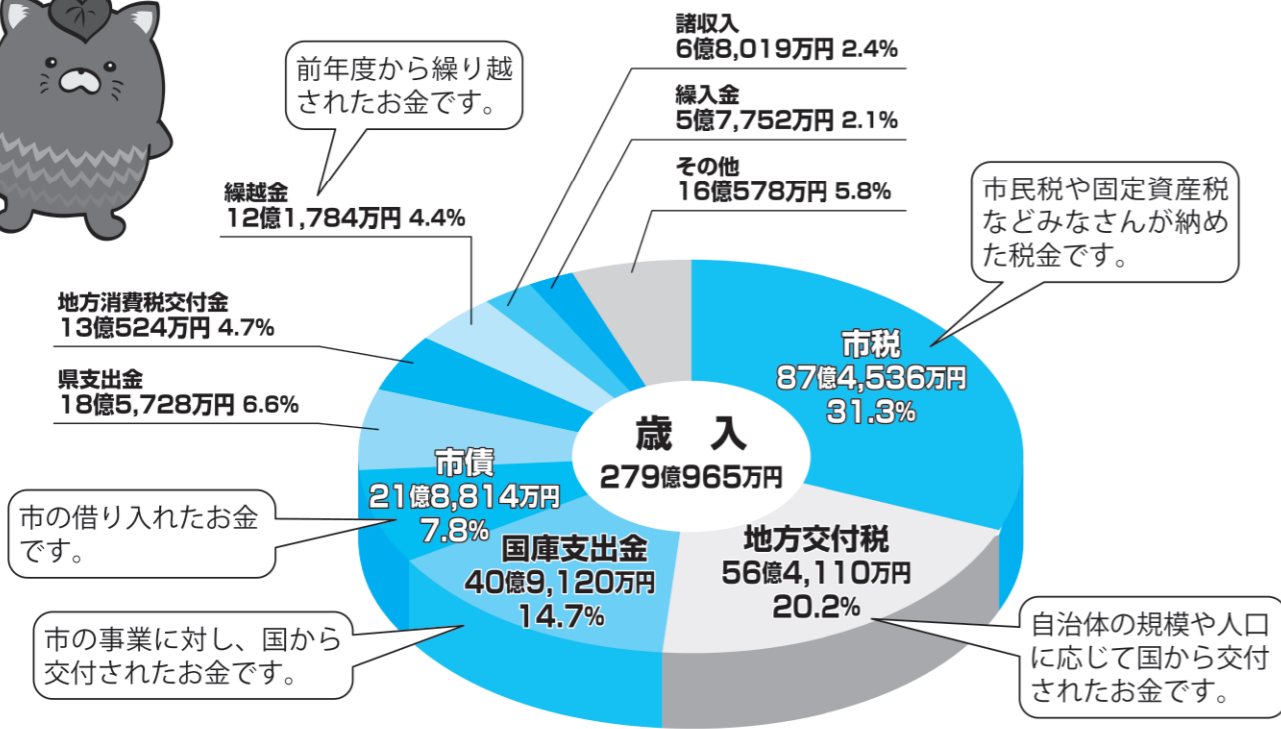
令和元年
第3回定例会

平成30年度一般会計決算の状況は

平成30年度一般会計決算の状況は、決算審査特別委員会で審査後、認定されました。(P4に関連記事)

歳入については、市税、地方交付税などが増額でありましたが、国庫支出金、市債、諸収入などの減額により、歳入全体で前年度と比較すると9億4,009万円の減額(-3.26%)となりました。

歳出についても、民生費での、民間保育所整備事業や認定子ども園等の事業などの増額がありましたが、教育費や土木費などの減額により、歳出全体で10億3,469万円の減額(-3.74%)となりました。



会計別の決算の状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計	279億965万円	265億9,721万円	13億1,244万円	2,923万円	12億8,320万円
国民健康保険	76億3,420万円	75億3,594万円	9,826万円	0	9,826万円
後期高齢者医療	7億1,583万円	7億1,557万円	26万円	0	26万円
介護保険	46億9,482万円	45億6,384万円	1億3,098万円	0	1億3,098万円
介護サービス	1,196万円	1,170万円	26万円	0	26万円
住宅新築資金等貸付事業	112万円	92万円	20万円	0	20万円
簡易水道事業	9,431万円	9,234万円	196万円	0	196万円
地域し尿処理施設	1,383万円	1,346万円	37万円	0	37万円
農業集落排水事業	1,191万円	1,171万円	20万円	0	20万円
下水道事業	22億7,229万円	22億6,970万円	259万円	0	259万円
合併浄化槽事業	1,714万円	1,706万円	8万円	0	8万円
水道事業会計※	9億3,234万円	10億2,769万円	△9,535万円		

※水道事業会計での支出額に不足する額は、過年度分および当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額で補填しました。

私は賛成です。

賛成討論
滝川美幸 議員

増加する社会保障関係経費に的確に対応する中で、「緑と活力あふれる生活快適都市」および「創甲斐教育」の実現に向け、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本とし、施策の選択と集中を図るなか、主要事業である「塩崎駅周辺整備事業」や「公園整備事業」などを執行するとともに、「創甲斐教育」の推進や、「敷島小学校大規模改修」など、市民生活に直接かかわる事業に対して、効率的・効果的な予算執行がなされているものと総括することができます。

本市の将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、将来を見据えた的確な判断と、臨機応変な実行力を備えた財政運営に期待し、賛成討論とします。

私は反対です。

反対討論
松井豊 議員

普通会計の主要指標は概ね良好に推移しており、行政全般への一定の配慮がなされているが、歳入では市民の消費税納税分約120億円に対し、消費税交付金が13億500万円余りしかないことや、サテライト双葉の公営賭博売上金の収入は納得できない。

歳出では、行政サービスの根幹をなす正規職員の人件費が県内最下位であること。商工費の充実と住宅リフォーム助成制度の導入。中学3年生までの医療費を窓口無料にするとともに、給食費の段階的無料化・困窮度による軽減など、子どもの貧困対策を充実すべき。また、国に対しても、地方財政のさらなる充実を強く働きかけるべきです。

定例会のあらまし

令和元年第3回定例会は、9月10日から10月1日までの22日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から条例の制定・改正、補正予算、決算の認定、人事案件などの議案が提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決・認定および同意されました。また、12人の議員から一般質問が行われました。

定例会の様子は、議会ホームページで録画中継を配信していますので、ぜひご視聴ください。

●歳入（財源） ※△は減額

項目	金額
国庫支出金	23,961万円
県支出金	12,177万円
繰入金	7,859万円
市債	3,200万円
諸収入	1,632万円
分担金及び負担金	△11,145万円

●歳出（使いみち） ※青字と△は減額

項目	おもな事業	金額
民生費	関係職員費、認定こども園等事業等	2億4,144万円
農林水産業費	関係職員費、県営土地改良費等	3,606万円
教育費	関係職員費、子ども・子育て支援事業	3,332万円
土木費	関係職員費、都市計画諸費等	3,224万円
総務費	関係職員費、地方創生事業等	2,325万円
消防費	消防施設整備費、防災無線施設維持管理費	450万円
商工費	関係職員費	347万円
衛生費	関係職員費、峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化推進協議会負担金等	287万円
労働費	関係職員費、労働施策推進事業	168万円
議会費	関係職員費	△199万円

私は賛成です。

賛成討論
藤原 正夫 議員

本案は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ3億7,683万7千円を追加するものであるが、地方創生事業341万円は、山梨県緑化センター跡地活用事業において、県道に接道する民有地の用地取得に伴う、測量調査委託業務の経費である。
「フラワーパーク&ミュージアム」を事業コンセプトとし、既存施設の貴重な緑化資源を継承しながら、市内外から人が集い賑わう交流拠点、また、幼少期から美術作品に親しむ文化芸術の新たな拠点として、市の地域活性化に多くの波及効果をもたらされることが期待できるものであることから、「令和元年度 甲斐市一般会計補正予算 第3号」は、健全財政の堅持を基本とするなかで、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けた予算であると判断し、賛成討論とします。

私は反対です。

反対討論
横山 洋介 議員

本案には、山梨県緑化センター跡地活用に関する、隣地購入に向けた用地測量費341万円が含まれています。本件は、民間事業者ヒアリング調査において「主要道路沿いのアクセスを改善した方が良い」という結果だけで、隣接地のみの測量調査であります。以前から当局は、この跡地を甲斐市のランドマークとして市の活性化に繋げると示してきました。ヒアリング調査では、規模が小さすぎるという意見もあり、当該用地だけを測量調査することは経費がかさむ可能性も秘めています。当該用地は公園等も存在しており、今まで当局が一貫して説明してきた通り、最終的な事業が確定した段階で測量調査を行っても遅くはないと考えますので、「令和元年度 甲斐市一般会計補正予算 第3号」に対し反対とします。

主な補正予算事業を紹介します

●地方創生事業 【341万円の増額】

山梨県緑化センター跡地活用事業において、県道に接道する緑化センター隣接地、取得のための用地測量調査 業務委託料の計上でありました。



Q 用地の使用目的は

A 用地を取得することによって、県道の幅員が狭いため歩道の整備を含め、また、大型車両も入れる整備も行えるため利便性の向上が図れる。

●特別会計および水道事業会計補正予算 ※△は減額

会計名	予算額	補正額	総額
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	71億7,936万円	△55万円	71億7,881万円
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	7億7,358万円	△78万円	7億7,280万円
介護保険特別会計補正予算（第2号）	48億3,890万円	133万円	48億4,023万円
簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	9,186万円	12万円	9,198万円
地域し尿処理施設特別会計補正予算（第1号）	1,471万円	10万円	1,481万円
下水道事業特別会計補正予算（第1号）	23億2,167万円	△485万円	23億1,682万円
水道事業会計補正予算（第2号）	11億1,075万円	253万円	11億1,328万円

決算
審査

平成31年度 決算審査特別委員会レポート

市民の暮らしに
どう生かされた？

決算を
徹底チェック

平成30年度の決算審査は、委員20人による決算審査特別委員会（委員長 藤原 正夫議員、副委員長 横山 洋介議員）を設置し、9月20日から27日までの間の延べ5日間、審査を行いました。
主な使いみちは次のとおりです。

総務費

- 地方創生事業 …… 1,267万円
(移住定住促進事業等)
- 防犯対策推進事業 …… 2,614万円
(青色防犯パトロール業務委託、防犯灯設置工事・管理経費等)

民生費

- 民間保育所整備事業 …… 3億1,457万円
(松島さくら保育園、げんきっこ双葉保育園、ひよこ保育園の整備事業補助金)
- 自立支援給付事業 …… 14億2,209万円
(障がい者の介護給付費等)

商工費

- 観光推進事業 …… 1,629万円
(マスコットキャラクター「やはたいぬ」活用事業、観光関係PR用品等)

土木費

- 塩崎駅北口駅前広場歩道上屋根建築工事 …… 1億1,519万円
- (仮称) 上八幡公園整備工事 …… 1億6,996万円

教育費

- 敷島小学校大規模改修工事 …… 1億6,168万円



令和元年度一般会計補正予算（第3号）

保育園・幼稚園等が認定こども園等への
移行に伴い、利用する園児数の増加による
給付費等

3億7,684万円増額

一般会計補正予算（第3号）は、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債などを財源に、民生費、農林水産業費などの補正予算が提出され、採決の結果、賛成多数で可決されました。

補正
予算

請願結果

件名	提出者	紹介議員	要望事項	議決結果
教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	甲斐市PTA連絡協議会 会長 小林 淳 甲斐市公立小中学校長会 会長 小尾 一彦 甲斐市公立小中学校教頭会 会長 丹沢 貴浩 山梨県教職員組合中巨摩支部 執行委員長 佐藤 栄志	横山 洋介 滝川 美幸	1. 計画的な教職員定数改善をすすめるとともに、少人数学級の推進を図ること。 2. 義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。 3. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。	採択 (全会一致) 国(内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣)に意見書を提出

件名	提出者	紹介議員	議決結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める請願書	山梨県医療労働組合連合会 執行委員長 佐藤 均	松井 豊	継続審査
看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	山梨県医療労働組合連合会 執行委員長 佐藤 均	松井 豊	継続審査
介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	山梨県医療労働組合連合会 執行委員長 佐藤 均	松井 豊	継続審査
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	山梨県労働組合総連合 議長 上野 光正	谷口 和男	継続審査

定例会人事

●公平委員会委員候補者

任期満了(令和元年11月2日)に伴い、次の方の推薦に対し、適任であると決定しました。

案件	名前(地区)	議決結果
公平委員会委員の選任の件	興石 和男(上の山)	同意

●固定資産評価審査委員会委員候補者

任期満了(令和元年11月2日)に伴い、次の方の推薦に対し、適任であると決定しました。

案件	名前(地区)	議決結果
固定資産評価審査委員会委員の選任の件	土屋 哲夫(上篠原)	同意
	保延 博(上町南)	同意
	芦澤 光(大屋敷)	同意

第3回定例会では、条例の制定や一部改正について審議を行いました。その中で、主なものをピックアップしてお知らせします。



条例

甲斐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定の件を可決

地方公務員法及び地方自治法の一部改正が行われたことに伴い、会計年度任用職員※の給与及び費用弁償に関して必要な事項を定める必要が生じたため、この条例案を提出するものです。

※現在の一般職非常勤職員及び嘱託職員の名称を「会計年度任用職員」とするもの

■主な内容(令和2年4月1日施行)

概要は、その任用、服務、規律等を明確に規定するとともに正規職員との均衡を図るものです。

●主な質疑

Q 今回の制定で給与が改善されるのか。

A 現在より年収が上回る設定を考えている。

Q 身分的な確保の心配はないか。

A 任用は、会計年度の4月から3月の1年間となっており、次年度以降の選考は競争試験などを行い任用していく予定である。

その他、今定例会で可決された条例

(詳しくはP16の議案審議結果をご確認ください)

- 甲斐市印鑑条例の一部改正の件
- 甲斐市税条例の一部改正の件
- 甲斐市手数料条例の一部改正の件
- 甲斐市公共物管理条例の一部改正の件
- 甲斐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件
- 甲斐市保育料条例の一部改正の件
- 甲斐市地域し尿処理施設条例の一部改正の件
- 甲斐市農業集落排水施設条例の一部改正の件
- 甲斐市下水道使用料条例の一部改正の件
- 甲斐市戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例の一部改正の件
- 甲斐市道路占用料徴収条例の一部改正の件
- 甲斐市準用河川管理条例の一部改正の件
- 甲斐市上水道給水条例の一部改正の件
- 甲斐市簡易水道給水条例の一部改正の件
- 甲斐市水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正の件
- 市道路線認定の件

一般質問

ここが聞きたい

一般質問は、行政全般にわたり、議員個人が、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいいます。

質
問

第3回定例会では12人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、10ページから15ページです。なお、議会ホームページで、一般質問の録画を配信していますのでご覧ください。

QRコードはこちら→



甲斐市議会 議会中継 検索

新政会 伊藤 毅 議員 10ページ

- ①創甲斐教育推進大綱について
- ②生活環境の安全対策について

新政会 秋山 照雄 議員 10ページ

- ①空き家対策について

公明党 保坂 芳子 議員 11ページ

- ①子育てSOSサービスの実施を
- ②一般不妊治療に公費助成を
- ③「甲斐市の歌」の制定を
- ④「学校ウエディング」出前授業の実施を

公明党 加藤 敬徳 議員 11ページ

- ①新・洪水ハザードマップと緊急一時避難場所の整備について
- ②マイクロプラスチックによる河川及び水質汚染について
- ③訪日外国人旅行者を4000万人に、甲斐市の取り組みについて

創政甲斐クラブ 内藤 久歳 議員 12ページ

- ①成年後見制度について
- ②プログラミング教育の対応について

公明党 金丸 幸司 議員 12ページ

- ①高齢者の安全運転支援について
- ②公用車にドライブレコーダー設置について

颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員 13ページ

- ①甲斐市の子育て支援（保育）について
- ②峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化の現状について

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員 13ページ

- ①障がい者福祉のさらなる充実を
- ②子育て支援のさらなる充実を

日本共産党甲斐市議団 谷口 和男 議員 14ページ

- ①真の保育無償化・待機児童解消のために
- ②なげろドゥーテ美術館とバラ園優遇するのでは

新政会 清水 正二 議員 14ページ

- ①山梨県緑化センター跡地活用について
- ②安全なまちづくりの推進について
- ③市内の道路整備について

進和会 横山 洋介 議員 15ページ

- ①公民館等施設の利便性向上について
- ②市民活動支援の拡充について

甲斐市民クラブ 斉藤 芳夫 議員 15ページ

- ①公共施設等の適正管理及び安全対策について
- ②広域ゴミ処理場の移設について

9月12日(木)

9月11日(水)

9月10日(火)

議案を
チェック

計画・補正予算等

委員会レポート

今定例会における各常任委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。
(9月13日、17日開催)

委員会

総務教育常任委員会

計画 第2次甲斐市総合計画基本構想の変更の件

概要：「第2次甲斐市総合計画後期基本計画」策定に伴い、市政推進の取組を示したまちづくりの方針となる基本構想を見直すことについては、甲斐市まちづくり基本条例第15条第1項の規定により議会の議決を経る必要があるため。

Q 主な変更点は。

A 計画期間（国の総合戦略に合わせ、市計画期間の最終年度令和7年度を、令和6年度に変更）と、最新の情報を加えたことが変更点である。

建設経済常任委員会

補正 労働施策推進事業 300万円増額

概要：人口減少が続く中、地方の担い手不足対策としてU・I・Jターンを促進するため、国が実施する地方創生推進交付金を活用し、県と共同で本市への移住促進と中小企業等における人手不足の解消を図るものである。

Q 今までの移住促進も、なかなか目標に達していないが、対策は何か考えているのか。

A 今まで通り東京の催しで移住定住の説明し、補助金のPRを行う。市独自で「KAI STYLE（甲斐スタイル）^{*}」を行っており、新しい事業は考えていない状況である。
※甲斐市の移住定住情報や魅力情報を発信する事業



厚生環境常任委員会

補正 広域事務組合負担金 53万円増額

概要：峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化推進協議会に対する令和元年度分の負担金

Q 来年度以降の負担金の金額は。

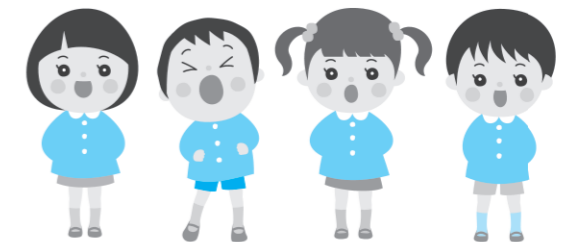
A 今年度中に一部事務組合設立を目指しており、設立後、ごみ処理広域推進協議会は解散となるため、来年度は新たな一部事務組合の負担金を計上予定。

補正 特別保育事業 540万円増額

概要：令和元年10月1日から始まる幼児教育・保育無償化に伴う新規事業として、認可外保育施設、また、幼稚園・認定こども園の1号認定、いわゆる教育を希望する3歳以上児の一時預かり事業などに対する給付費になる。

Q 新規事業の特別保育事業の予算の予定人数は。

A 幼稚園、認定こども園の1号認定の預かり保育を60人。また、認可外保育施設等の利用を6人予定している。



「甲斐市子育てSOSサービス」の実施を

市長 ▶ 現在「産後応援ヘルパー派遣事業」を実施している

公明党 保坂 芳子 議員



保坂 幼児教育無償化が始まる。電話一本でヘルパーが駆けつける「子育てSOSサービス」を進めては。

子育て健康部長 市では「ファミリーサポート事業」も実施しており産後ケア以外にも対象にしている。

一般不妊治療法に公費助成を

市長 不妊治療は、一般不妊治療から開始することが多く、タイミング法、薬の処方、人工授精などがある。

保坂 甲斐市としてはどのような一般不妊治療助成を考えているか。

子育て健康部長 甲斐市版ネウボラ事業推進協議会でも提案され、県も検査費助成を導入した。市としても検討していきたい。

保坂 甲斐市版ネウボラ推進プロジェクトに対する事業評価は。

子育て健康部長 合計特殊出生率、不妊治療助成事業の出生率も目標を上まわり一定



保育園児による「うたごえしゅうかい」

新・洪水ハザードマップと緊急一時避難場所の整備について

市長 ▶ 国・県が示す、浸水想定区域など確認し、新しいハザードマップに記載していく

公明党 加藤 敬徳 議員



加藤 近年甚大化する豪雨災害である。先日も九州北部で「未だかつて経験したことのない」と言われる豪雨災害に見舞われた。甲斐市では「1000年に一度の豪雨災害を想定した」新ハザードマップを作成。甲斐市も今迄経験したことのない災害を想定し、いざという時のための防災体制を築いておくべきである。甲斐市では、再来年度に新たに作成するハザードマップについて問う。

加藤 昨年9月定例会において、洪水災害時における緊急避難場所の拡充について質問したが、その中で、「高速道路の法面を避難場所として使用することを協議・検討する」また、「新しいハザードマップに拡充した避難場所を記載する」との答弁があったが、整備等の進捗状況はどうか。

市長 洪水時に緊急避難場所として、高速道路の法面



水害時において、有効な避難場所として期待される

創甲斐教育推進大綱について

市長 ▶ 甲斐市総合計画の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に必要なと考え

新政会 伊藤 毅 議員



伊藤 家庭・地域・学校の連携強化について今後の考えは。

教育長 「地域とともにある学校づくり」を推進し、課題を地域ぐるみで解決していく仕組みづくりを進めていく。また育成会の持つ役割は重要であり、地域活動へ参加できる体制を作る。

伊藤 甲斐市で活躍するスポーツ選手に注目。

教育長 本市在住または本市出身のスポーツ選手が国内外において活躍することは、非常に喜ばしく名誉なことであると考え。活躍しているスポーツ選手に注目し、どのように応援していくか等、調査・研究して参りたいと考える。

伊藤 「甲斐市で育ち甲斐市を育てる人づくり」は甲斐市の未来そのものと考え。まち全体のビジョンにしてみたいかがか。

市長 甲斐市総合計画の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に必要な



早期の抜本的な改修が必要

空き家対策について

市長 ▶ 所有者との連絡を密にとり、適切な指導や助言を行って参りたい

新政会 秋山 照雄 議員



秋山 所有者が高齢者や県外在住、または、相続人が不明等により、管理が行き届かず、雑草等が繁茂し、近隣世帯に迷惑をかけてしまうようなケースや、また、他市町村でも実施している、補助制度の創設や、家屋の取壊しに対する代執行など、管理不全であると思われる空き家の対応は。

市長 平成27年度に実施した、空き家の実態調査では1,214件の空き家を確認しており、その中に管理不全な空き家が1,355件ありました。空き家の定期巡回や草刈りなどを代行して行う制度として、平成31年3月に峡中地区広域シルバ人材センターと「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」を締結し、所有者からの相談や業務案内パンフレットの配布など、利用促進を図っております。次に、取壊し等の対応ですが、空き家であっても個人の財産であるため、所有者が行うこととなりますが、県内では、5つの市町で取壊しの費用に対する補助制度が設けられており、本市でも、他の市町の補助要件などを精査したうえで、検討を行って参りたいと考えております。

秋山 管理不全な空き家について、特定空き家等に指定し、計画的に対応していく考えはあるか。

建設産業部長 甲斐市空家対策計画に基づき、適切な管理を行っていただくよう所有者へ



保育園の利用者需要の動向と現状について

市長 ▶ 保育園の利用者は、ここ数年増加傾向にある

颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員

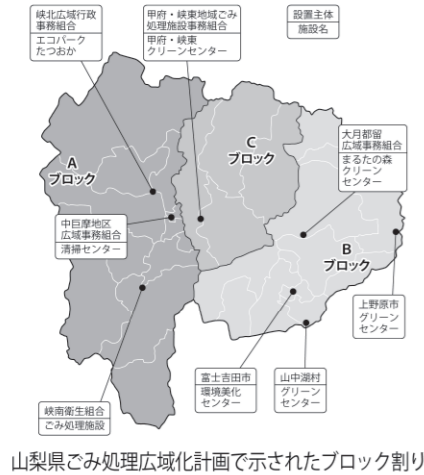


有泉 甲斐市の保育の現状、特に未満児の保育ニーズの現状について聞かれます。

市長 本市における未満児保育の現状は、保護者の育児休暇明けの利用が増加しているため、特に1歳児において、毎年、入園希望が多い状況が続いている。また、今年度は、国や県の補助金を有効活用し、市内に私立の小規模保育施設を2園新たに開園したことで、未満児の受入枠の拡大が図られた。本年10月から保育料の無償化が始まりますが保育園等への需要の増加や保育士不足、また、社会情勢の変化に伴う就労形態の多様化などから、本市における保育ニーズは高まることが考えられる。

有泉 今後の保育事業の対策と方針について聞かれます。

市長 現在「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めている。昨年度保育園等の利用についてニーズ調査



障がい者の法定雇用 (2.5%) 19人は確保されているか

市長 ▶ 現在は10人だが、令和2年度も雇用確保に努める

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員



松井 格差・貧困の拡大の中で障がい者の生活は困難さを増している。法定雇用率(2.5%)では19人の雇用が必要だが、雇用数は、(日)では10人となっており、令和2年度も雇用数を確保するよう取り組んでいく。

松井 知的・精神障がい者の雇用状況は、特に増加している精神障がい者への対応はどうか。

市長 今年度の職員採用試験から、障がい者の種類の制限を無くし、知的・精神障がい者の方々の雇用に向けており、精神障がい者の方1名を非常勤職員として雇用している。

松井 障がい者優先調達法(平成25年度施行)に基づく物品の調達実績は、役務拡大の検討されているのか。

市長 トイレレットペーパー、パン等230万円分を購入している。役務については、今後、就労施設と協議する中で検討していく。



成年後見制度について市の取り組み状況は

市長 ▶ 中核となる機関の設置等を計画的に進めていく

創政甲斐クラブ 内藤 久歳 議員



内藤 相談する窓口は、市長 本市の成年後見制度の相談窓口は、65歳以上の高齢者は、長寿推進課内の「地域包括支援センター」で、障がい者については、福祉課が相談窓口として対応している。

内藤 支援の状況及び体制について聞かれます。

市長 相談内容により、成年後見制度の利用が必要な場合は、地域包括支援センターの社会福祉士の資格を有する職員等が、制度の説明や関係機関の紹介など必要な支援を行っている。

内藤 市民後見人への取り組みは、

市長 現在、取り組みは行っていないが、今後成年後見制度の中核機関の設置等を計画的に進めるなかで、取り組んでいく。

内藤 後継人等への報酬について市の助成はあるか。

福祉部長 家庭裁判所により決定された報酬額の範囲内で、被後見人等が居宅の場合は月額28000円、施設入所または病院や診療所に入院している場合は、月額18000円を上限で助成している。



もしものための成年後見制度

踏み間違い防止装置導入費の助成を進めては

市長 ▶ 県内他市等の状況を見る中で研究して参りたい

公明党 金丸 幸司 議員



金丸 車に後付けできる踏み間違い防止装置等導入費の助成を行い踏み間違いによる事故防止対策を進めべきと考えるが見解は、

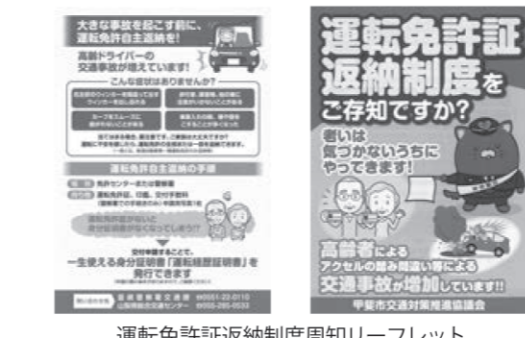
市長 本市における交通事故件数は、近年の自動車安全性の向上もあり減少傾向にありますが、そのうち65歳以上の高齢者による事故は約30%を占めており、踏み間違い防止装置の設置は、交通事故における対応策としても有効であると認識しております。

金丸 踏み間違い防止装置導入費用の助成について県内他市の状況は、

総務部長 北杜市が令和元年10月から補助制度を導入する予定と聞いております。内容としては、65歳以上の高齢者に対し、26000円を上限に購入費の半額を補助する制度となっております。

金丸 免許証の自主返納について聞かれます。

総務部長 平成30年末65歳以上の免許証保有者は12793人であり、うち173人の自主返納者であります。



運転免許証返納制度周知リーフレット

金丸 高齢者ドライバー支援事業を行い高齢者交通安全確保のために取り組みます。

市長 富士河口湖町では平成21年度から大学等の機関と連携し高齢者ドライバー支援事業を実施しております。本市における高齢者ドライバー支援として、どのようなニーズがあるか、調査・検討して参りたいと考えております。

市民力を底上げするための施策をどのように考えているのか 市長 ▶ 計画の検討段階からワークショップ形式などの政治手法を取り入れていく



進和会 横山 洋介 議員

横山 市民活動の支援や連携のサポートはどのようにしているのか。

市長 甲斐市社会福祉協議会が中心となりコーディネートーターを配置し、支援や連携サポートを行っている。

横山 市民力を高めるための課題は。

市長 協働によるまちづくりを進めていく上で、市民意識の醸成を図っていくことが課題である。

横山 限られた財源の中で、実となる地域課題を解決するためには、住民と行政の協働のまちづくりを市が主体となりサポートする必要があるが見解を。

生活環境部長 地域や行政課題を市民と共に考え取り組んでいく基本姿勢のもと、各種団体との連携・ネットワーク化に取り組み、具体的な活動支援を検討していく。

横山 公民館等の施設の利便性向上について



市内で行われた「ワークショップ」の様子

公共施設の適正管理と非構造部材等の安全対策を伺う 教育長 ▶ 定期的に調査をしている、個別施設計画に基づいていく



甲斐市民クラブ 齊藤 芳夫 議員

齊藤 双葉ふれあい文化館大ホールの安全対策は。

教育長 平成28年度に調査を実施した結果、天井材等の落下防止対策が必要とのことであった。市民文化系施設の個別施設計画に基づき対策を講じていく。

齊藤 その他、玄関ホール、ロビー、敷島総合文化会館のエントランスホールはどうか。

教育長 大ホールと結果は同じで、対策も同じように行う。

齊藤 竜王駅南北通路、車寄せロータリー、大屋根天井等についての見解は。

市長 駅舎と一体の建築物として認識していたが、再度確認したところ、建築物に該当しないとの事だが、市民の安全性を図るためにも、法に準じた耐震対策等の点検調査が必要と考えている。

齊藤 他に該当する施設はないか。

企画政策部長 指摘された施設の他、該当する施設は4カ所あると認識している。今後、順次検討、対策を講じる。

齊藤 市営天狗沢住宅を集



竜王駅南北自由通路と大屋根

真の保育無償化・甲斐市での食材費自己負担はいくらになる予定か 市長 ▶ 国の基準額と同額の4500円とし、保護者負担と考えている



日本共産党甲斐市議団 谷口 和男 議員

谷口 新たに給食費の保護者負担が増えるなど、無償化とは程遠いが、低所得の方にメリットはあるのか。

子育て健康部長 国では、年収360万円未満の世帯の全ての子ども、および第3子以降を対象とし副食費を減免することとしており、本市でも、減免対象者以外の子どもの副食費について、実費での徴収を行うこととしているが、低所得者への影響は無いものと考えている。

谷口 国の方針を甲斐市に割り当てると、比較的高所得の世帯(例えば保育料35000円)は、給食費のみ4500円と大幅な負担減だが、元々保育料の減免世帯はあまりメリットがなく消費増税の負担がかかる。

谷口 市内の保育園定数の充足数がほぼ100%である中、市外保育園に甲斐市枠を設けてもらうなどの対策はできるのか。

市長 本市における広域保育等の利用は、今年度4月時点において、456人でありました。広域利用の調整については、県において統一の実施する要望をしていくところだが、今後、他市とも連携を図りながら県への働きかけを行っていく。

なげろドゥーテ美術館とバラ園を優遇するのでしょうか



島田市ばらの丘公園

谷口 概算費用によると、収益を生むはずの有料部分に、毎年6984万円の維持管理補助金を出す。減額すべきではないか。

市長 行政施設の維持管理費は、有償・無償に係わらず発生する。今後の事業者提案により変更になると考えている。

谷口 「島田市ばらの丘公園」(指定管理料1200万円)、「磐田市香りの博物館」(同4300万円)と極端に安い。指定管理の方がいいのでは。

企画政策部長 事例の2つの施設は、公共施設として維持管理しており、指定管理となった際、運営業者が非常に苦勞したと聞く、収益性・集客性の観点から計画段階において民間事業者の自由度を高めることが望ましい。

谷口 市民アンケートでは交流の場などが多い。計画を変更すべきだ。

市長 アンケート結果を踏まえ、事業計画に反映させて参りたい。

谷口 市民との対話集会を開くべきだ。

山梨県緑化センター跡地活用について 市長 ▶ 市のイメージにふさわしい、シンボル施設となるよう事業の推進に努める



新政会 清水 正二 議員

清水 山梨県緑化センター跡地活用について。

市長 「フラワーパーク&ミュージアム」が季節の花々や木々の美しい、市民の憩いの場として、地域活性化に寄与する交流の場として、また、年少期から美術作品に親しむ芸術文化の新たな拠点施設となるよう計画している。

清水 山梨県緑化センター跡地活用事業に寄せる市の考え方について聞く。

市長 施設がこれまで果たしてきた役割や、存続を求める地域等の要望を踏まえ、既存の樹木や緑の資源を活かしながら、人が集う賑わいの交流拠点として、また、本市のイメージアップにもつながる施設として、事前コンセプトを「フラワーパーク&ミュージアム」としてきました。まさに、第2次甲斐市総合計画のすべての基本目標に向けて合致するものであり、市の将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」のイメージにふさわしいシンボル施設となるよう事業の推進に努める。

清水 犯罪抑止力として、不審者通報カ所(通学路)と犯罪多発地点に防犯カメラの設置が必要と聞くが対策を聞く。

市長 近年様々な犯罪の解決



既設道路と開発地の交差点

安全なまちづくりの推進について

清水 甲斐市では、近年宅地開発が増えており、既存道路と開発地との交差点での優先道路の認識が難しい。開発時に道路標示等の設置指導はできないか考えを聞く。

建設産業部長 開発区域内道路は、交差する既存道路幅員より広い場合が多いことから、停止線等の表示を指導し、交通安全対策を図って参ります。

清水 市内の小学校では、毎年1回教職員、保護者、自治会役員の方々が通学路の点検を実施し「甲斐市通学路安全推進会議」に報告し、合同点検を行い、安全対策に取り組んでいる。

清水 横断歩道、道路標識等、市の交通安全対策の推進を聞く。

市長 市内の小学校では、毎年1回教職員、保護者、自治会役員の方々が通学路の点検を実施し「甲斐市通学路安全推進会議」に報告し、合同点検を行い、安全対策に取り組んでいる。

総務部長 現在本市では、161台の防犯カメラを設置している。今後、設置については、個人情報問題など課題があるため、検討が必要と考えている。

清水 併設しているトイレは公衆トイレ的役目を担っているが。

教育長 市が所有しているものでないので、管理している方に対処していただきたい。

議会だよりの表紙写真を募集しています!!

あなたの撮った
写真で表紙を
飾ってみませんか?



送付先 〒400-0192 甲斐市篠原2610番地 甲斐市議会事務局 庶務・議事係 Email:gikaishomu@city.kai.yamanashi.jp

議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。

議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

令和元年 第4回定例会の日程(予定)

※日程等に変更がある場合もあります
※お気軽にお越しください。

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。

TEL 055-278-1691 FAX 055-276-2113

日	月	火	水	木	金	土
12月1日	2	3	4	5	6	7
8	9	10 午前10時～ 本会議(議案上 程等)	11 午前9時30分～ 建設経済常任委員会 午後1時30分～ 厚生環境常任委員会	12 午前9時30分～ 総務教育常任委 員会	13 委員会予備日	14
15	16 午前10時～ 本会議(採決・ 代表質問)	17 午前10時～ 本会議(代表質 問)	18 午前10時～ 本会議(一般質 問)	19 午前10時～ 本会議(一般質 問・採決等)	20	21
22	23	24	25	26	27	28

積極的に調査・研究します

特別
委員会

特別委員会レポート

第3回定例会までに開催された各特別委員会の活動(調査)状況をお知らせします。



■ 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和元年 8月26日	民間事業者への意向調査(ヒアリング)の実施状況について 要求水準書(案)について 山梨県緑化センター跡地活用事業の事業用地について
令和元年 9月12日	議案第68号 令和元年度甲斐市一般会計補正予算(第3号)

■ バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和元年 8月28日	設備認定の状況及び用地取得・熱供給事業に係る調査について

議会防災訓練を実施

総合防災訓練において市議会災害対策本部を設置後、関係機関合同訓練の視察を行いました。

市議会では、市議会災害対策本部設置規定および市議会災害対策本部対応マニュアルにより、8月25日の市総合防災訓練に併せて、議会防災訓練を行いました。当日は、本部長(議長)、副本部長(副議長)、本部長(総務教育・厚生環境の常任委員長)による市議会災害対策本部を設置して、その後、双葉体育館での関係機関合同訓練の視察を行いました。合同訓練では、山梨県立防災安全センターによる起震車体験などが行われました。

また、本部長以外の各議員については、各地区の一時避難場所での避難訓練に参加して、参加人数や状況を市議会本部へ報告する伝達訓練などを行いました。



市議会災害対策本部の様子



起震車体験の様子

編集後記

日頃より、市民の皆さんにつきましては、市議会活動に対しご理解、ご協力いただき、また、議会だよりをご愛読いただきまして誠にありがとうございます。

さて、9月10日に開会した、令和元年甲斐市議会第3回定例会は、会期日程が22日間と長く、その間、多数の議案審議や平成30年度の決算審査等を行い、市当局との活発な議論が行われ10月1日に閉会いたしました。今号では、その様子を掲載してまいります。

これからも、市民の皆さんに市議会の活動の様子や市政についてわかりやすく伝えるよう、議会だよりの更なる充実を図ってまいります。

【山本英俊 委員 記】

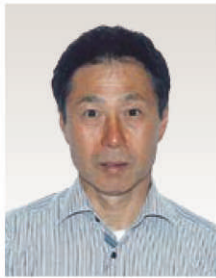
詳しくは

市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。
TEL (055) 278-1673
ホームページアドレス
http://www.kai-shigikai.jp

甲斐市議会
検索
甲斐市議会
検索してください



市民の声



趣味を通じて 生きがいを

小澤 和則
[竜王新町3区]

来年には、東京五輪を控え、また、今年は、ラグビーワールドカップの日本開催とスポーツ熱も高まっています。私も生涯スポーツとして長年に渡り、ボールルームダンスを続けていて、日々、楽しく過ごしています。

私の地元赤坂台には、ドラゴンパークがあります。当初は芝生の広い公園で、どのように使われるのだろうと思っていましたが、ウォーキングをする人、ジョギングをする人と、様々な目的に使われ、日中はもちろん、夜間も駐車場がいっぱいになるほど、多くの人に利用されています。また、利用する人同士が、毎日顔を合わせるうちに、挨拶を交わし仲良くなるほど、新しいコミュニケーションの場にもなっているようです。

このような、ドラゴンパークの事例のように、現在ある施設を含め市民が健康で楽しく過ごす手助けとなる場の提供を、甲斐市には引き続きお願いします。

日本の高齢化率も上がる中、健康寿命を上げるための一歩を踏み出す、それが大切だと思います。私も、食事に健康に気を配り、大好きなボールルームダンスにも、目標を定め、多くの人たちとも、関わりを持ちながら、生きがいのある暮らしを続けて行きたいと思います。



議会傍聴記

乙黒 功
[富竹新田3区]

私は、区の役員を務めていることもあり、日々の生活に関わる身近で公共的な問題が、甲斐市議会という合議の場で、どの様に取り上げられて、議論されているのか、こんなことを考えながら傍聴させていただきました。

子どもの養育のこと、親の介護のこと、家族の健康のこと、交通安全や防犯・防災のことなど、私たちは、様々な悩みや不安等を抱えながら、日々、地域の中で暮らしています。

議会では、こうした身近な問題の解決に向け、市長（執行機関）と議員が、共に市民の代表として、全市的な合意形成を目指しながら、具体的な政策や施策について、真摯な議論を行っていると感じました。

一方で、傍聴席の空席を目にした時、甲斐市に暮らす者として、こうした議論の行く末に、関心を寄せることの大切さと必要性を強く考えさせられました。

少子高齢化が進み、生活様式や価値観も大きく変容する中であって、市民の市政への参加意識を高める取組は、市政を運営する上で大変重要な課題ではないでしょうか。

政治的な学習機会の充実をはじめ、議会運営のあり方などについて、私たちは、今こそ、共に考える時期を迎えているのかもしれない。

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)
☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

有
料
広
告

甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

住まいのお困りごとは、信頼の地元工務店で！

家のリフォームから、
造園・外構・快適住環境整備まで
あらゆる住まいの相談にお応えします！
ご相談は、商工会へ！



新築 改築	外壁 工事	内装 工事	造園 外構	水廻 工事	電気 工事	快適 環境
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385

議会広報常任委員会

委員長 五味 武彦	委員 谷口 和男
副委員長 伊藤 毅	委員 小澤 重則
委員 加藤 敬徳	委員 山本 英俊

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、
市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>